

貨車

アゼルバイ



十五年に及ぶ貨車での耐乏生活、暮る望郷。カスピ海での油田開発が世界的に注目されるアゼルバイジャンでは、ナゴルノカラバフをめぐる隣国アルメニアとの領土紛争で故郷を追われた約百万人の難民・避難民が暮らす。石油収入の配分で生活環境は徐々に改善されつつあるが、紛争解決のための政府間交渉は難航、古里への帰還の見通

「もう十五年も待った。早く故郷に帰してくれ。家族七人で暮らす無職バ イシフさん(モ)の訴えは、

首都バクー南西約百八 十キロにあるイラン国境沿 いの町イミシリ。使い古 しの放置された貨車に四 百世帯の避難民が住む。 多くが一九八〇年代後半 から九〇年代前半にナゴ ルノカラバフ周辺からた どり着き、ここで暮らし

ひと 立ち話



戦火のカンボジアを逃れワシントンで画家として活躍するパカン・ペンさん(54)が、昨年友人に連れられて訪れた徳島県由岐町(現美波町)に魅せられ、由岐の絵を描き続けている。「平和に人が暮らす自然は心を込めて描ける」

徳島の平和を 心を込め描く

カンボジアの強烈な太陽が頭に焼きつくペン氏の絵は力強い色、深い彫りで人を圧倒する。家族からの仕送りが途絶え、画家の活動再開は6年前だが、「遅咲きだけに、絵の意欲があふれるように出てくる」。(共同)

巧みに作り上げる能力 日本人のものづくりに 特筆をほくんできた。 一ネ、省資源、低環境負 荷リサイクル性能さら 劇エネなど、環境にやさ 製品で日本が世界をリ っつあるのも、こうした 民族的な背景と無縁で いると思う。新たなメー ドン・ジャパンを追求する 私自身もつとも大切 たいと考えているのがこ 本人の「自然観」である。 心・安全・簡単・便利な 的な品質の高さを大前 しつ、「新日本様式」 えていくことで、「品位 格」を兼ね備えた日本な 品の製品が生み出されは りしいと思う。

戦火のカンボジアを逃れワシントンで画家として活躍するパカン・ペンさん(54)が、昨年友人に連れられて訪れた徳島県由岐町(現美波町)に魅せられ、由岐の絵を描き続けている。「平和に人が暮らす自然は心を込めて描ける」



平和願ひ徳島の自然を描く

独裁体制となり、家族全員が追放され、両親と兄弟6人が死亡した。ペン氏は寸前に帰国を取りやめた。帰国していれば、殺されていただろう。「米国で絵を描き、世界に見せろ」という天の啓示だった」と言う。カンボジアの強烈な太陽が頭に焼きつくペン氏の絵は力強い色、深い彫りで人を圧倒する。家族からの仕送りが途絶え、画家の活動再開は6年前だが、「遅咲きだけに、絵の意欲があふれるように出てくる」。

北海道加川市の市長 西

は、ゲストに井上靖記念館

を派遣し、地域おこしをサポートするなど、ソフト面での支援も必要だ」と話している。

▼環境情報HPを開発 石川県は県内の環境情報を共有できるホームペ ジ「いしかわ環境情報流サイト」を立ち上げ

Gifu Shimbun Newspaper
5/19/2007
Evening Edition

Chat on People

Mr. Pakan Penn , (54), escaped war-torn Cambodia and established a painting career in Washington DC. Last year his friend took him to visit Yuki-cho (presently Miwa-cho), Tokushima, and fell in love with it. He has been painting this village ever since. "I can express the nature where people live peacefully together really from the heart in my painting."

While studying art at a university in Washington DC, his country fell in the hands of the dictator, Pol Pot. His family was all deported, his parents and six siblings were killed. He made a last minute decision not to return home. If he had gone home, he would have been killed. "It was a revelation from heaven that I must paint here in the US and show it to the world," he says.

His painting style of powerful colors and deep strokes, perhaps reflecting the intense sunshine in his home country engrained in his head, overwhelms the viewers. Since financial assistance from his family stopped, his painting activities did not resume until just six years ago. "Blossoming late in my life, my passion towards painting really shows, as if overflowing from my works."

(Kyodo)

Fukui Shimbun Newspaper
5/22/2007

Chat on People

Painting the nature of Tokushima in hopes of peace

(text identical as above)